平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年２月８日

上場会社名　　ぷらっとホーム株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6836　　ＵＲＬ　http://www.plathome.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）鈴木　友康
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）河南　邦男　　ＴＥＬ　03-5213-4376
四半期報告書提出予定日　　平成25年２月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	842	13.3	△229	－	△231	－	△247	－
24年３月期第３四半期	743	△26.3	△334	－	△337	－	△381	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	△19,480.99	－
24年３月期第３四半期	△30,100.41	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	1,983	1,764	88.9
24年３月期	2,288	2,007	87.7

（参考）自己資本　　25年３月期第３四半期　　1,764百万円　　24年３月期　　2,007百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年３月期	－	0.00	－		
25年３月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250	11.1	△214	－	△218	－	△233	－	△18,372.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	13,588株	24年３月期	13,588株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	906株	24年３月期	906株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	12,682株	24年３月期３Ｑ	12,682株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．四半期決算補足説明資料は、平成25年２月８日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国の経済は、厳しい状況が続き、企業の生産の減少や設備投資の動きが冴えず、景気は弱い動きをしています。先行きについては、復興需要及び政府の新たな施策の奏功に期待がかかりますが、なお海外経済を巡る不確実性は依然として高く、国内景気の回復が妨げられるリスクが存在します。

当社の主要な販売品目である国内サーバ市場においては、前年同期に比べ出荷金額、出荷台数とも減少しました。

このような状況において、当社は、独自性の高い自社製品であるマイクロサーバに継続して経営資源を集中しており、マイクロサーバの新シリーズを８月に出荷開始しました。この結果、当第３四半期累計期間の売上高は842百万円（前年同期比98百万円・13.3%増加）と前年同期に比べ増加しました。販売費及び一般管理費は、マイクロサーバに係る研究開発費、広告宣伝費及び販売促進費が増加しましたが、前期に実施した本社移転による家賃の減少等により、前年同期に比べ減少しました。この結果、営業損失は229百万円（前年同期は営業損失334百万円）、経常損失は231百万円（前年同期は経常損失337百万円）、四半期純損失は247百万円（前年同期は四半期純損失381百万円）となりました。

品目別の売上高動向につきましては、次のとおりであります。

（自社製品コンピュータ）

マイクロサーバについては、法人及び地方自治体に向けて新たな顧客の開拓を行い、またネットワーク運用に不可欠な各種機能を予め組み込んだアプライアンス製品の販売に努めました。付加価値の高いアプライアンス製品の伸長は利益率の向上に貢献しました。新シリーズについては、出荷が多数の企業にわたるもののその多くが検証段階の製品購入となっておりますが、ネットワーク監視用途や大手システムインテグレータの新たなクラウドサービスの機器として採用されるなど、大口出荷の事例が出てきております。この結果、マイクロサーバの売上高は前年同期と比べ増加しました。サーバ(ＩＡサーバ)・ストレージの売上高についても、既存顧客への継続した出荷があり前年同期と比べ増加しました。この結果、自社製品コンピュータ全体の売上高は前年同期と比べ増加し、売上高は390百万円（前年同期比123百万円・46.3%増加）となりました。

（コンピュータ関連商品）

オンライン販売サイトの売上が増加したものの、法人営業販売が減少し、コンピュータ関連商品全体の売上高は前年同期と比べ減少しました。この結果、売上高は373百万円（前年同期比18百万円・4.7%減少）となりました。

（サービス・その他）

マイクロサーバに係るサポートサービスについては本体売上の増加により伸長し、サーバ（ＩＡサーバ）・ストレージの延長保守サービスについては大口の年間保守契約が継続して受注となったものの、サービス・その他全体の売上高は前年同期と比べ減少し、売上高は78百万円（前年同期比6百万円・7.5%減少）となりました。

なお、上記の各品目に含まれるマイクロサーバに関連する売上高（本体、サポートサービス、オプション品など）は266百万円（前年同期比62百万円・30.4%増加）であります。（前年同期比の数値は参考値として記載しております。）

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の資産については、現金及び預金の減少286百万円等により、前事業年度末に比べ304百万円減少し、1,983百万円となりました。

負債については、買掛金の減少34百万円等により、前事業年度末に比べ61百万円減少し、219百万円となりました。

純資産については、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少247百万円等により、前事業年度末に比べ243百万円減少し、1,764百万円となりました。

なお、平成24年６月28日開催の定時株主総会における決議に基づき、平成24年８月３日付で、資本金395百万円、資本準備金603百万円、その他資本剰余金4,804百万円、利益準備金5百万円、別途積立金70百万円がそれぞれ減少し、繰越利益剰余金が5,878百万円増加しておりますが、これによる純資産の額の変動はありません。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第３四半期累計期間の業績は概ね予想の範囲に推移しており、平成24年11月９日付当社「平成25年３月期　第２四半期決算短信（非連結）」及び「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました平成25年３月期通期業績予想に変更はありません。

当社は、早期の黒字化を実現するために、今後市場が大きく拡大すると見込まれるマイクロサーバ市場に引き続き注力してまいります。当事業年度において出荷を開始したマイクロサーバの新シリーズは従来より大幅に処理能力が向上し、従来機種では対応できなかった用途への拡販を行うとともに、パートナー企業との連携を広げ、より付加価値の高いアプライアンス製品のラインナップやサービスの拡充を図っております。これにより、従来のコンピュータでは設置や運用が困難な多拠点ネットワークシステムへの導入など、有望な分野を開拓してまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,328	1,484,534
売掛金	174,593	151,602
商品及び製品	17,347	17,598
原材料	47,131	121,634
その他	125,575	55,544
流動資産合計	2,135,976	1,830,914
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	124,577	105,183
その他	27,747	47,747
投資その他の資産合計	152,325	152,930
固定資産合計	152,325	152,930
資産合計	2,288,301	1,983,845
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,965	100,150
未払法人税等	11,858	5,360
賞与引当金	17,482	9,493
製品保証引当金	1,909	1,702
その他	88,014	77,562
流動負債合計	254,230	194,268
固定負債		
退職給付引当金	18,018	16,973
その他	8,500	8,500
固定負債合計	26,518	25,473
負債合計	280,749	219,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,414,700	2,019,628
資本剰余金	5,566,781	158,329
利益剰余金	△5,803,523	△247,057
自己株式	△158,329	△158,329
株主資本合計	2,019,628	1,772,570
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,075	△8,466
評価・換算差額等合計	△12,075	△8,466
純資産合計	2,007,552	1,764,103
負債純資産合計	2,288,301	1,983,845

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	743,881	842,822
売上原価	518,228	561,517
売上総利益	225,652	281,305
販売費及び一般管理費	560,258	510,395
営業損失（△）	△334,605	△229,090
営業外収益		
受取利息	168	158
保険配当金	―	222
為替差益	―	400
その他	214	227
営業外収益合計	383	1,008
営業外費用		
為替差損	697	―
投資事業組合運用損	2,769	3,899
営業外費用合計	3,467	3,899
経常損失（△）	△337,689	△231,981
特別損失		
減損損失	28,083	12,226
本社移転費用	13,110	―
特別損失合計	41,194	12,226
税引前四半期純損失（△）	△378,883	△244,207
法人税等	2,850	2,850
四半期純損失（△）	△381,733	△247,057

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年６月28日開催の定時株主総会における決議に基づき、平成24年８月３日付で、資本金395,071千円及び資本準備金603,675千円を減少し、それぞれをその他資本剰余金に振り替え、その他資本剰余金5,803,523千円を繰越利益剰余金に振り替えるとともに、利益準備金5,400千円及び別途積立金70,000千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損てん補に充当しております。

この結果、当第３四半期会計期間末において、資本金は2,019,628千円、資本準備金は0円、その他資本剰余金は158,329千円、利益準備金及び別途積立金は0円となっております。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。